

## 取扱いの趣旨

ベタメタゾン吉草酸エステル・ゲンタマイシン硫酸塩（リンデロン－VG軟膏0.12%）は、抗生物質・副腎皮質ホルモン配合剤（軟膏）（ステロイド外用薬）であり、抗生物質含有軟膏を使用する必要はないことから、傷病名に対する算定は、原則として認められない。

## 支払基金が公表している取扱いの全文

【投薬】

《令和6年5月31日》

168 ベタメタゾン吉草酸エステル・ゲンタマイシン硫酸塩の算定について

### ○ 取扱い

次の傷病名に対するベタメタゾン吉草酸エステル・ゲンタマイシン硫酸塩（リンデロン－VG軟膏0.12%）の算定は、原則として認められない。

- (1) じんま疹
- (2) 慢性じんま疹
- (3) せつ
- (4) 乾皮症、皮脂欠乏症

### ○ 取扱いを作成した根拠等

じんま疹は、真皮又は皮下組織に一過性、限局性の膨疹、紅斑及び掻痒が生じる疾患であり、食物や薬剤等原因が明らかなものと明らかな原因がなく繰り返し症状が出現する特発性のものがある。特発性のものは、1か月以内に症状が消失するものを急性じんま疹、1か月以上症状が持続するものを慢性じんま疹と分類している。

治療には薬物療法の第一選択として第2世代の抗ヒスタミン薬を使用する。ステロイド外用薬の使用は、蕁麻疹診療ガイドライン2018において、「膨疹出現が抑制されることを期待し得るが、副作用の可能性を考慮すると一般的な蕁麻疹の治療法としては推奨されない」とされている。

せつは、毛包へのブドウ球菌感染により生じる皮膚膿瘍であり、皮膚の発赤、痛み及び腫れ等の症状が生じる。治療には病巣の穿刺や切開で膿を排出し、抗菌薬を内服投与する治療が一般的で外用薬塗布による抗菌薬の効果は限定的である。

乾皮症（皮脂欠乏症）は、皮膚表面を覆う皮脂の減少により皮膚が乾燥する疾患であり、治療には保湿剤を使用する。保湿剤による治療にもかかわらず増悪して湿疹化した場合は、ステロイド外用薬等の抗炎症薬を用いた治療を併用することがあるが、乾皮症や皮脂欠乏症に対する、ステロイド外用薬投与の必要性は低いと考えられる。

ベタメタゾン吉草酸エステル・ゲンタマイシン硫酸塩（リンデロン－VG軟膏0.12%）は、抗生物質・副腎皮質ホルモン配合剤（軟膏）であり、抗生物質含有軟膏を使用する必要はない。

以上のことから、上記(1)から(4)の傷病名に対する本剤の算定は、原則として認められないと判断した。

## 初回検証からフォローアップ検証までの改善状況及び今後の対応

### フォローアップ検証で8都道府県改善

フォローアップ検証終了時点の改善都道府県数

46

#### ■都道府県の改善状況

初回検証のフォローアップ対象都道府県数	フォローアップ検証後の未改善都道府県数
9	1

#### ■誤り件数の改善状況

要因別	初回検証の誤り件数 /3か月（年換算）	フォローアップ検証の 誤り件数/3か月（年換算）	改善率
職 員	175（700）	1（4）	99.4%
審査委員	18（72）	8（32）	55.6%
合 計	193（772）	9（36）	95.3%

#### ■フォローアップ検証で未改善の1都道府県に対する今後のフォローアップ対応

要因別	※未改善の都道府県（対象1万件当たり件数の多い順）	今後のフォローアップ対応
職員		○当該事例に係るCCの審査結果データを本部で取得。 取扱いと異なる審査結果のリストを作成し、地方組織へ還元。 ○地方組織は当該リストに基づき、当月審査において 担当審査委員や審査調整役等へ確認。 ○未改善の1都道府県については再フォローアップ検証を実施し、再度結果を公表する。
審査委員	青森	

※未改善事例は、取扱いと異なる件数や割合が以下のとおりである。

- ・全国で年間10件以上の事例
- ・年間100件以上又は1割以上かつ都道府県別少数事例基準件数を超える都道府県

2025年9月～2025年11月審査分

## 該当件数に対する検証結果

検証の結果、該当件数3,792件のうち、**取扱いと異なる審査は9件（0.24%）**  
フォローアップ対象9都道府県のうち、**再フォローアップ対象は1都道府県**

都道府県	検証結果										
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （ＣＣ解除等の誤処理）			
		適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			請求どおり 詳細等 から適正	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
				査定	返戻	査定 返戻 計					
01 北海道	126										
02 青森	42	37	88.10%	34	1	35	2	5	11.90%	0	5
03 岩手	57										
04 宮城	105										
05 秋田	53										
06 山形	19										
07 福島	43										
08 茨城	61										
09 栃木	38	37	97.37%	22	0	22	15	1	2.63%	0	1
10 群馬	71										
11 埼玉	198										
12 千葉	172										
13 東京	437										
14 神奈川	202										
15 新潟	26										
16 富山	26										
17 石川	12										
18 福井	6										
19 山梨	26										
20 長野	40										
21 岐阜	58										
22 静岡	97										
23 愛知	189										
24 三重	53										
25 滋賀	37										
26 京都	56	56	100.00%	44	1	45	11	0	0.00%	0	0
27 大阪	432										
28 兵庫	175	174	99.43%	138	4	142	32	1	0.57%	0	1
29 奈良	35										
30 和歌山	33										
31 鳥取	11										
32 島根	18										
33 岡山	48										
34 広島	84										
35 山口	20										
36 徳島	15										
37 香川	29										
38 愛媛	47										
39 高知	32										
40 福岡	220	220	100.00%	167	4	171	49	0	0.00%	0	0
41 佐賀	23	22	95.65%	20	0	20	2	1	4.35%	1	0
42 長崎	25										
43 熊本	42										
44 大分	40	40	100.00%	26	0	26	14	0	0.00%	0	0
45 宮崎	29										
46 鹿児島	54										
47 沖縄	130	129	99.23%	38	1	39	90	1	0.77%	0	1
全国	3,792							9	0.24%	1	8

※グレーは改善都道府県

2024年11月～2025年1月審査分

該当件数に対する検証結果

検証の結果、該当件数4,120件のうち、**取扱いと異なる審査は316件（7.67%）**  
検証対象45都道府県のうち、**フォローアップ対象は9都道府県**

都道府県	検証結果										
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （ＣＣ解除等の誤処理）			
		適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			請求どおり 詳記等 から適正	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
				査定	返戻	査定 返戻 計					
01 北海道	156	144	92.31%	109	5	114	30	12	7.69%	12	0
02 青森	49	44	89.80%	36	2	38	6	5	10.20%	1	4
03 岩手	31	30	96.77%	16	0	16	14	1	3.23%	0	1
04 宮城	153	146	95.42%	28	0	28	118	7	4.58%	1	6
05 秋田	39	39	100.00%	4	0	4	35	0	0.00%	0	0
06 山形	21	20	95.24%	15	1	16	4	1	4.76%	1	0
07 福島	58	57	98.28%	47	1	48	9	1	1.72%	0	1
08 茨城	89	89	100.00%	70	2	72	17	0	0.00%	0	0
09 栃木	50	38	76.00%	27	1	28	10	12	24.00%	12	0
10 群馬	76	76	100.00%	24	0	24	52	0	0.00%	0	0
11 埼玉	227	213	93.83%	132	9	141	72	14	6.17%	5	9
12 千葉	186	180	96.77%	111	0	111	69	6	3.23%	2	4
13 東京	494	483	97.77%	370	6	376	107	11	2.23%	7	4
14 神奈川	229	211	92.14%	154	4	158	53	18	7.86%	2	16
15 新潟	39	39	100.00%	27	0	27	12	0	0.00%	0	0
16 富山	23	23	100.00%	9	0	9	14	0	0.00%	0	0
17 石川	17	17	100.00%	13	0	13	4	0	0.00%	0	0
18 福井	2										
19 山梨	26	26	100.00%	16	0	16	10	0	0.00%	0	0
20 長野	38	37	97.37%	23	4	27	10	1	2.63%	1	0
21 岐阜	47	45	95.74%	28	0	28	17	2	4.26%	1	1
22 静岡	89	88	98.88%	47	3	50	38	1	1.12%	1	0
23 愛知	197	190	96.45%	153	1	154	36	7	3.55%	6	1
24 三重	71	70	98.59%	37	0	37	33	1	1.41%	0	1
25 滋賀	67	64	95.52%	46	0	46	18	3	4.48%	3	0
26 京都	58	49	84.48%	38	0	38	11	9	15.52%	7	2
27 大阪	484	463	95.66%	386	13	399	64	21	4.34%	21	0
28 兵庫	196	144	73.47%	109	3	112	32	52	26.53%	41	11
29 奈良	38	37	97.37%	26	3	29	8	1	2.63%	1	0
30 和歌山	38	38	100.00%	15	0	15	23	0	0.00%	0	0
31 鳥取	19	19	100.00%	16	0	16	3	0	0.00%	0	0
32 島根	11										
33 岡山	58	56	96.55%	39	0	39	17	2	3.45%	1	1
34 広島	67	65	97.01%	29	0	29	36	2	2.99%	2	0
35 山口	16	16	100.00%	11	0	11	5	0	0.00%	0	0
36 徳島	20	19	95.00%	10	0	10	9	1	5.00%	0	1
37 香川	24	22	91.67%	18	0	18	4	2	8.33%	0	2
38 愛媛	42	42	100.00%	20	1	21	21	0	0.00%	0	0
39 高知	24	22	91.67%	19	0	19	3	2	8.33%	1	1
40 福岡	201	169	84.08%	133	5	138	31	32	15.92%	32	0
41 佐賀	16	13	81.25%	13	0	13	0	3	18.75%	3	0
42 長崎	38	32	84.21%	30	0	30	2	6	15.79%	6	0
43 熊本	30	28	93.33%	20	0	20	8	2	6.67%	0	2
44 大分	46	34	73.91%	28	0	28	6	12	26.09%	12	0
45 宮崎	34	31	91.18%	27	0	27	4	3	8.82%	3	0
46 鹿児島	53	52	98.11%	28	0	28	24	1	1.89%	0	1
47 沖縄	133	71	53.38%	58	1	59	12	62	46.62%	61	1
全国	4,120							316	7.67%	246	70

※グレーは検証前データ又は検証の結果により、少数事例に該当